

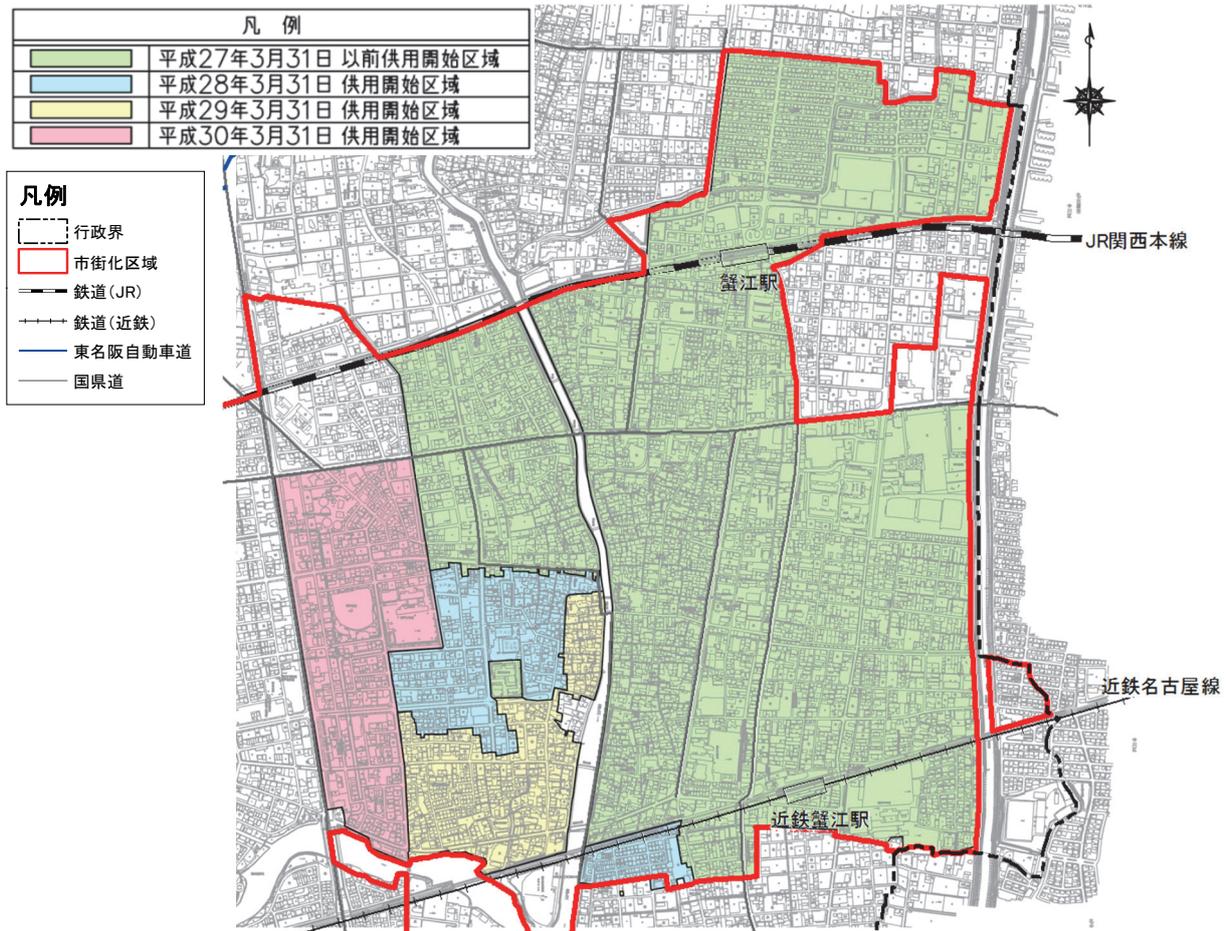
③ 下水道

当町の下水道は日光川下流流域下水道により整備が進んでいます。平成29(2017)年度時点の整備状況を見ると、処理区域面積が263.8ha、普及率が49.0%、接続率が67.6%となっています。

市街化区域のうち、主要地方道の一宮蟹江線（西尾張中央道）より東側はおおむね整備済みとなっていますが、未整備の区域も残っている状況です。

【下水道の整備状況】

	H21年度 (2009)	H22年度 (2010)	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)
処理区域面積(ha)	28.6	138.9	152.8	153.8	170.7	196.7	212.7	235.4	263.8
処理区域内人口(人)	1,665	11,303	11,410	11,459	12,966	13,666	15,063	16,705	18,439
接続人口(人)	0	1,753	6,451	7,990	8,431	9,740	10,818	11,513	12,459
普及率(%)	4.6%	31.0%	31.2%	30.5%	33.4%	36.2%	39.9%	44.2%	49.0%
接続率(%)	0.0%	15.5%	56.5%	69.7%	65.0%	71.3%	71.8%	68.9%	67.6%

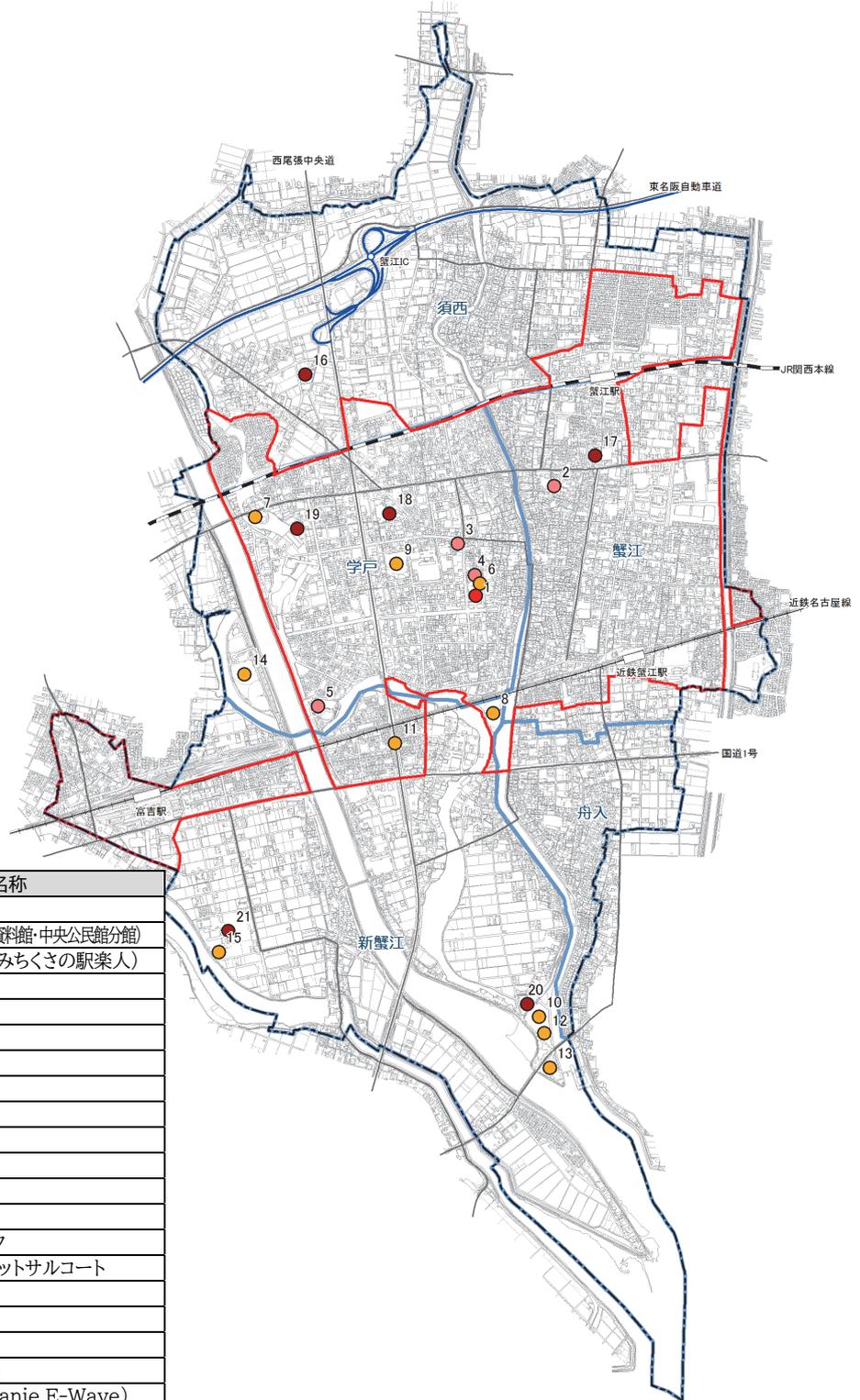
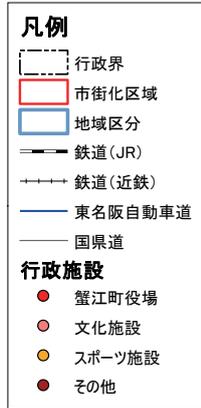


■ 公共公益施設等

(1) 行政施設

蟹江町役場や産業文化会館、まちなか交流センター、中央公民館などの主要な施設は、町の中心部に集中しています。

【行政施設の分布】



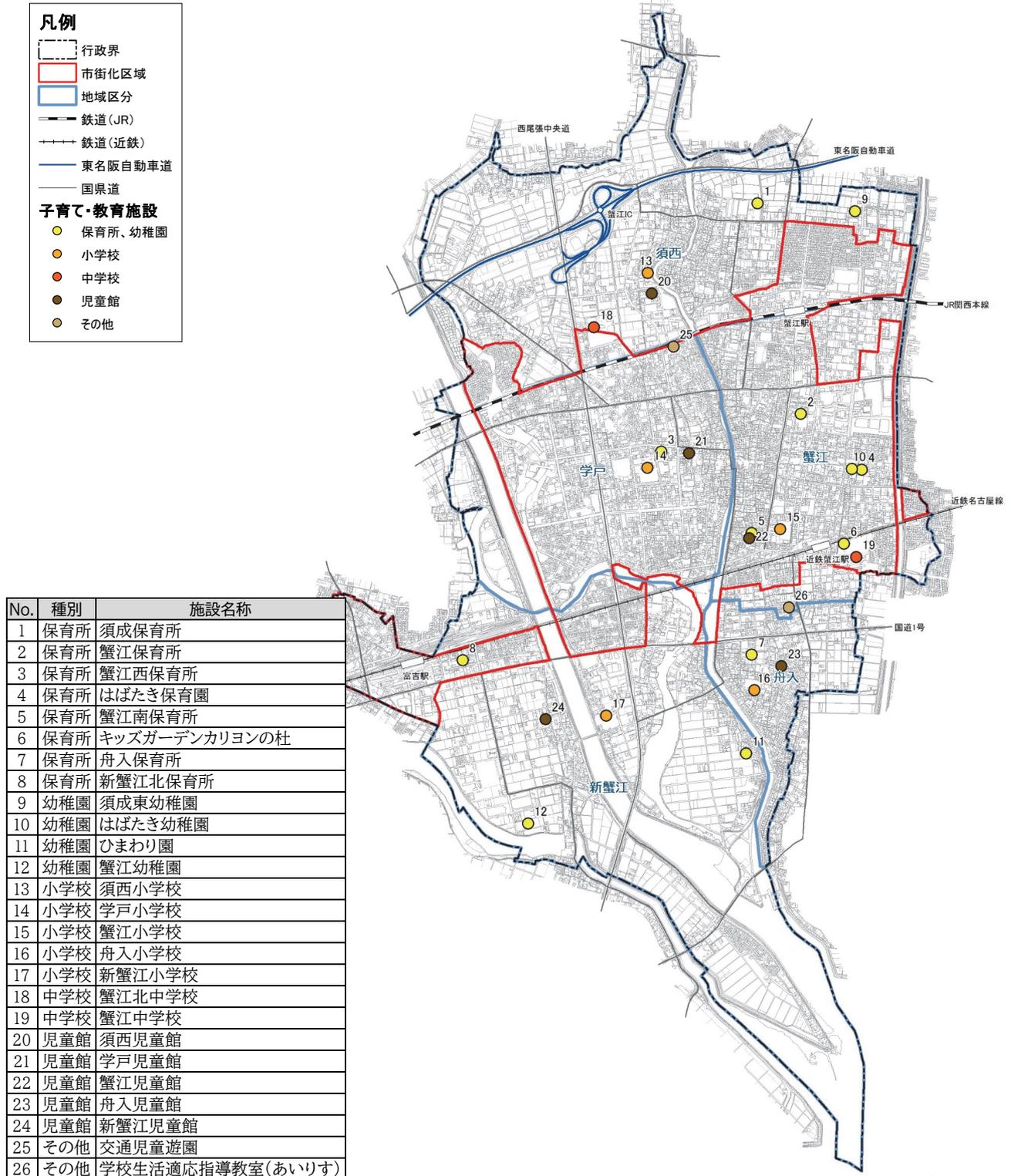
No.	種別	施設名称
1	役場	蟹江町役場
2	文化施設	産業文化会館(歴史民俗資料館・中央公民館分館)
3	文化施設	まちなか交流センター(みちくさの駅楽人)
4	文化施設	蟹江中央公民館
5	文化施設	蟹江町図書館
6	スポーツ施設	蟹江町体育館
7	スポーツ施設	蟹江町体育館分館
8	スポーツ施設	佐屋川グラウンド
9	スポーツ施設	学戸グラウンド
10	スポーツ施設	河川南グラウンド
11	スポーツ施設	中央ゲートボール場
12	スポーツ施設	河川テニスコート
13	スポーツ施設	河川南テニスコート
14	スポーツ施設	日光川ウォーターパーク
15	スポーツ施設	蟹江町希望の丘広場フットサルコート
16	その他	蟹江町保健センター
17	その他	蟹江町消防署
18	その他	蟹江町水道事務所
19	その他	多世代交流施設「泉人」
20	その他	蟹江町給食センター(Kanie E-Wave)
21	その他	蟹江町希望の丘広場

資料：蟹江町WEBサイト等

(2) 子育て・教育施設

当町には、小学校が5校、中学校が2校設置されています。保育所・幼稚園は12か所が立地していますが、東部に多く、西部には少ない状況です。また、児童館が各地域に設置されています。

【子育て・教育施設の分布】



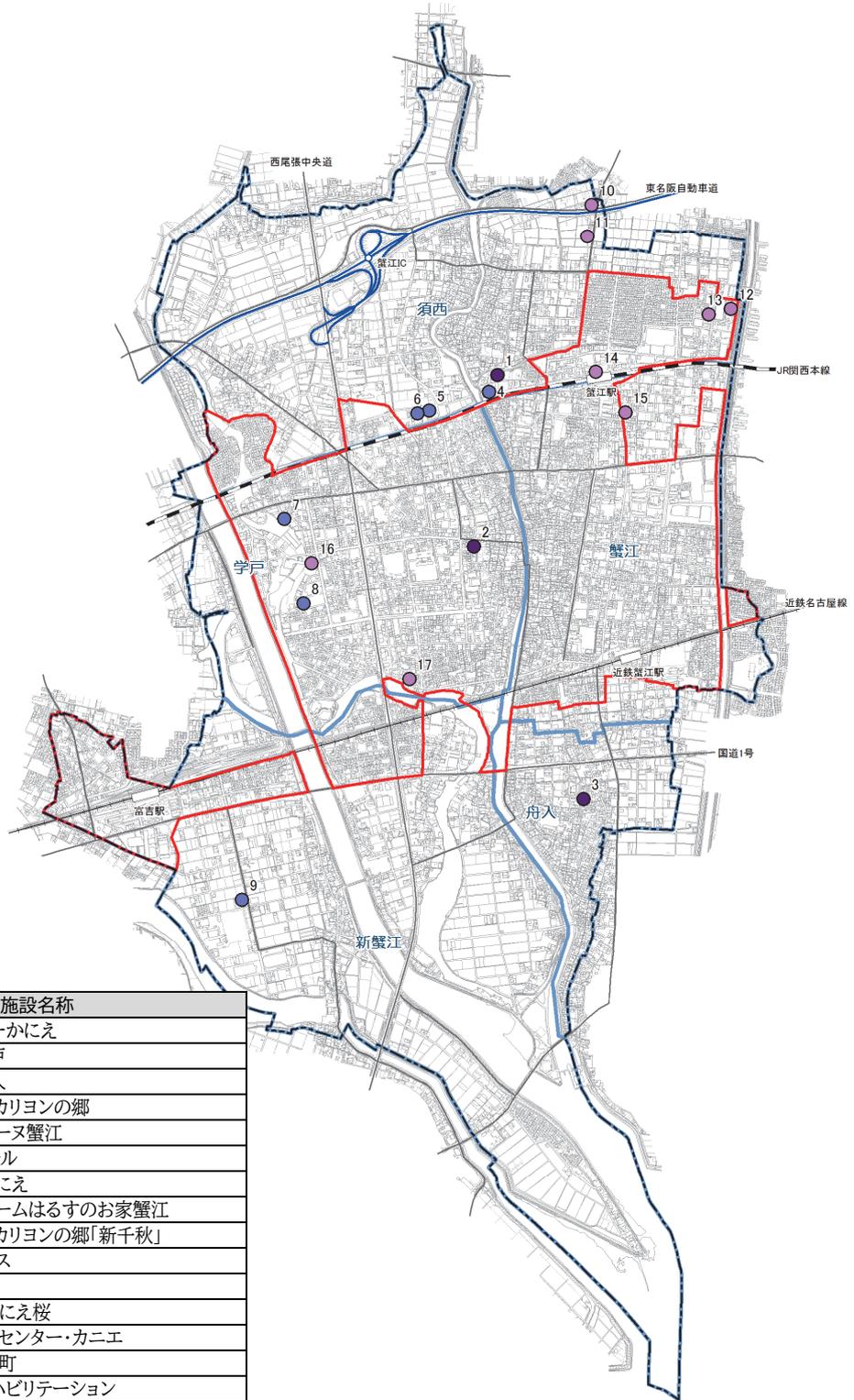
資料：蟹江町WEBサイト等

(3) 福祉施設

当町には、老人福祉センターが3か所設置されています。老人保健施設等は6か所、介護事業所は8か所が立地していますが、いずれも北部に多く、南部には少ない状況です。

【福祉施設の分布】

凡例	
	行政界
	市街化区域
	地域区分
	鉄道(JR)
	鉄道(近鉄)
	東名阪自動車道
	国県道
福祉施設	
	福祉施設
	老人保健施設等
	介護事業所



No.	種別	施設名称
1	福祉施設	地域活動支援センターかにえ
2	福祉施設	老人福祉センター学戸
3	福祉施設	老人福祉センター舟入
4	老人保健施設等	特別養護老人ホームカリヨンの郷
5	老人保健施設等	介護老人保健施設セーン蟹江
6	老人保健施設等	グループホームジャルル
7	老人保健施設等	介護老人保健施設かにえ
8	老人保健施設等	天然温泉有料老人ホームはるすのお家蟹江
9	老人保健施設等	特別養護老人ホームカリヨンの郷「新千秋」
10	介護事業所	しょうぶ会デイサービス
11	介護事業所	デイサービスかにえ
12	介護事業所	アクボデイサービスかにえ桜
13	介護事業所	ひまわりデイサービスセンター・カニエ
14	介護事業所	マックビーヒルズ蟹江町
15	介護事業所	かにえ診療所通所リハビリテーション
16	介護事業所	尾張温泉かにえ病院通所リハビリテーションセンター
17	介護事業所	リハビリデイサービスるぶらん

資料：蟹江町WEBサイト、介護サービス情報公表システム

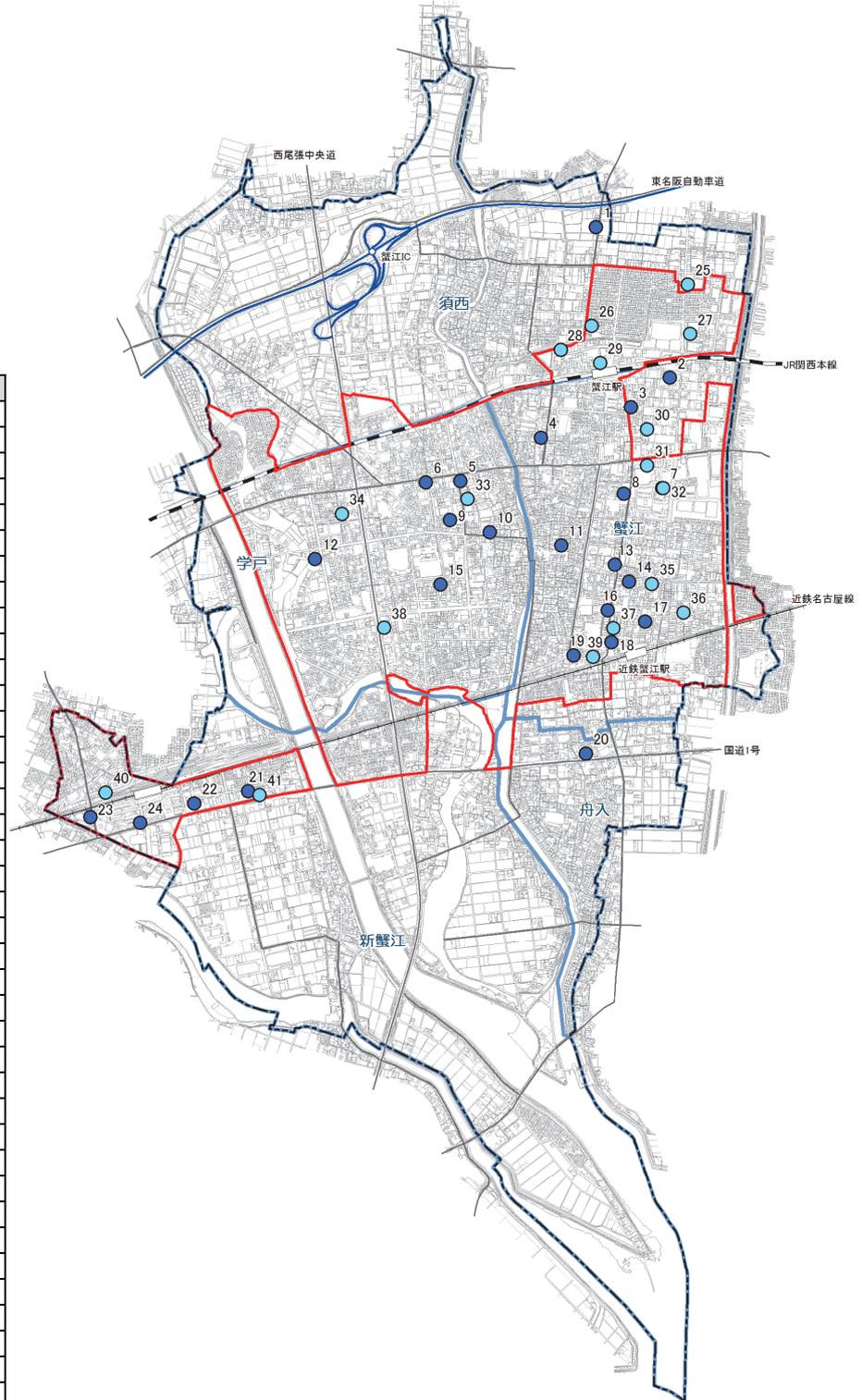
(4) 医療施設

当町には、医科（病院・診療所など）が24か所、歯科が17か所ありますが、その多くが市街化区域に立地しています。特に、東部のJR蟹江駅と近鉄蟹江駅の間に集中しており、西部には少ない状況です。

【医療施設の分布】

凡例	
	行政界
	市街化区域
	地域区分
	鉄道 (JR)
	鉄道 (近鉄)
	東名阪自動車道
	国道
医療施設	
	医科
	歯科

No.	種別	施設名称
1	医科	やまだクリニック
2	医科	耳鼻咽喉科たけうちクリニック
3	医科	かこえ診療所
4	医科	かとうクリニック
5	医科	眼科尾関クリニック
6	医科	成山ひだまりクリニック
7	医科	よしはる皮膚科
8	医科	川村眼科医院
9	医科	つつみ整形外科クリニック
10	医科	回生堂クリニック
11	医科	上田医院
12	医科	尾張温泉かこえ病院
13	医科	増田医院
14	医科	梶原クリニック
15	医科	循環器科・内科すずきクリニック
16	医科	ふなとクリニック
17	医科	すぎうらクリニック
18	医科	いそベクリニック
19	医科	山本医院
20	医科	船入病院
21	医科	飯田ファミリークリニック
22	医科	久保田内科クリニック
23	医科	さらクリニック
24	医科	前田内科
25	歯科	よこい歯科クリニック
26	歯科	滝川歯科医院
27	歯科	あじさいデンタルクリニック
28	歯科	蟹江ゆう歯科
29	歯科	おくしま歯科クリニック
30	歯科	竹内歯科医院
31	歯科	デンタルクリニック服部
32	歯科	さかがみ歯科
33	歯科	カニエ歯科
34	歯科	高阪歯科医院
35	歯科	ひらざわ矯正歯科クリニック
36	歯科	ファミリー歯科
37	歯科	かこえ総合歯科
38	歯科	月星歯科クリニック
39	歯科	西川原歯科医院
40	歯科	富吉歯科クリニック
41	歯科	島崎歯科



資料：蟹江町WEBサイト等

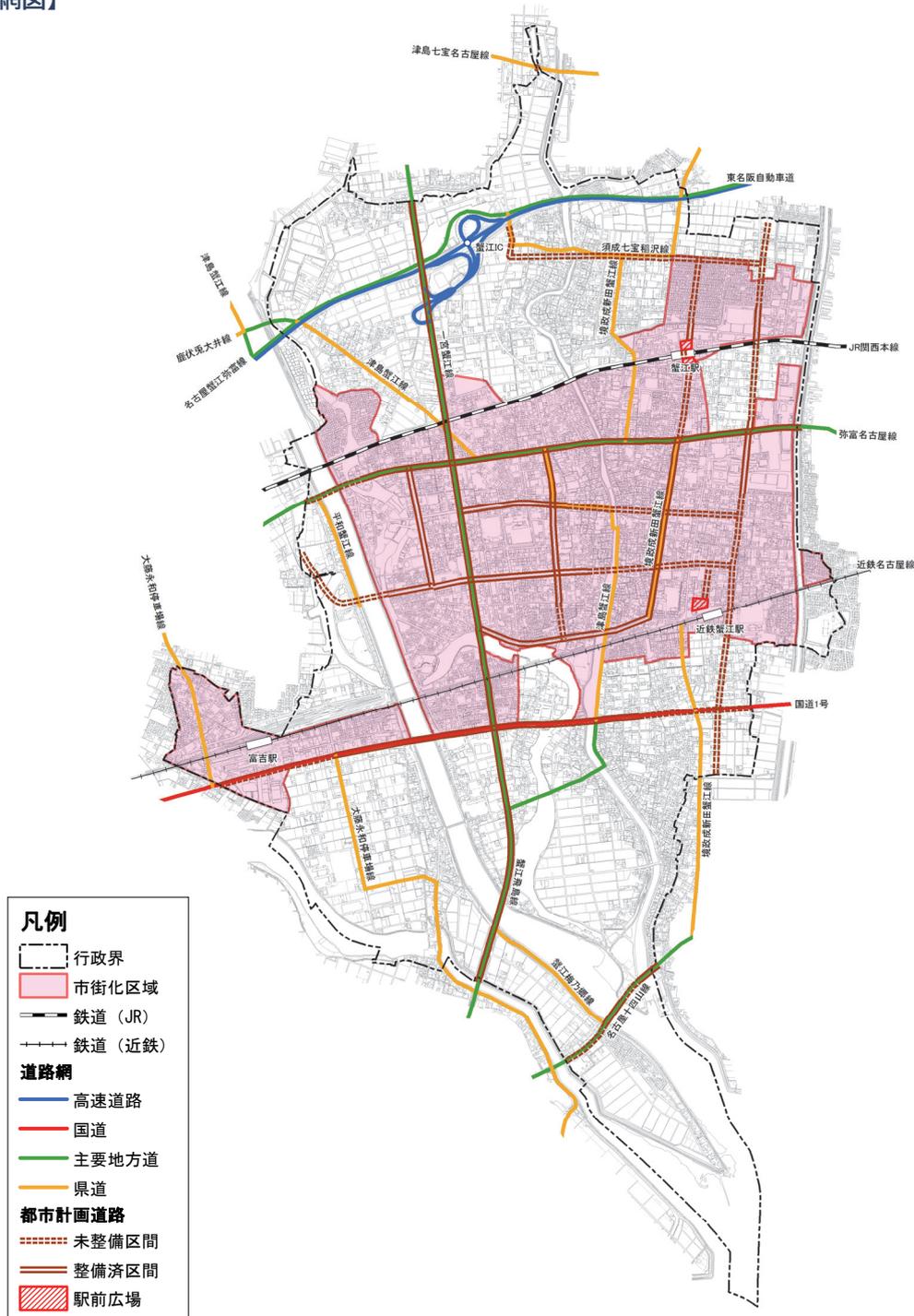
■ 交通

(1) 道路

① 幹線道路・主要道路網

当町の主要な幹線道路網は、南北に長い町域に対し、東西方向に東名阪自動車道と国道1号、主要地方道の名古屋蟹江弥富線、弥富名古屋線、名古屋十四山線などが、南北方向に東名阪自動車道の蟹江インターチェンジと接続する主要地方道の一宮蟹江線・蟹江飛鳥線（西尾張中央道）や、境政成新田蟹江線など複数の一般県道が通っています。都市計画道路は、これら主要な幹線道路を骨格として、市街地内におおむね格子状に計画されています。

【道路網図】

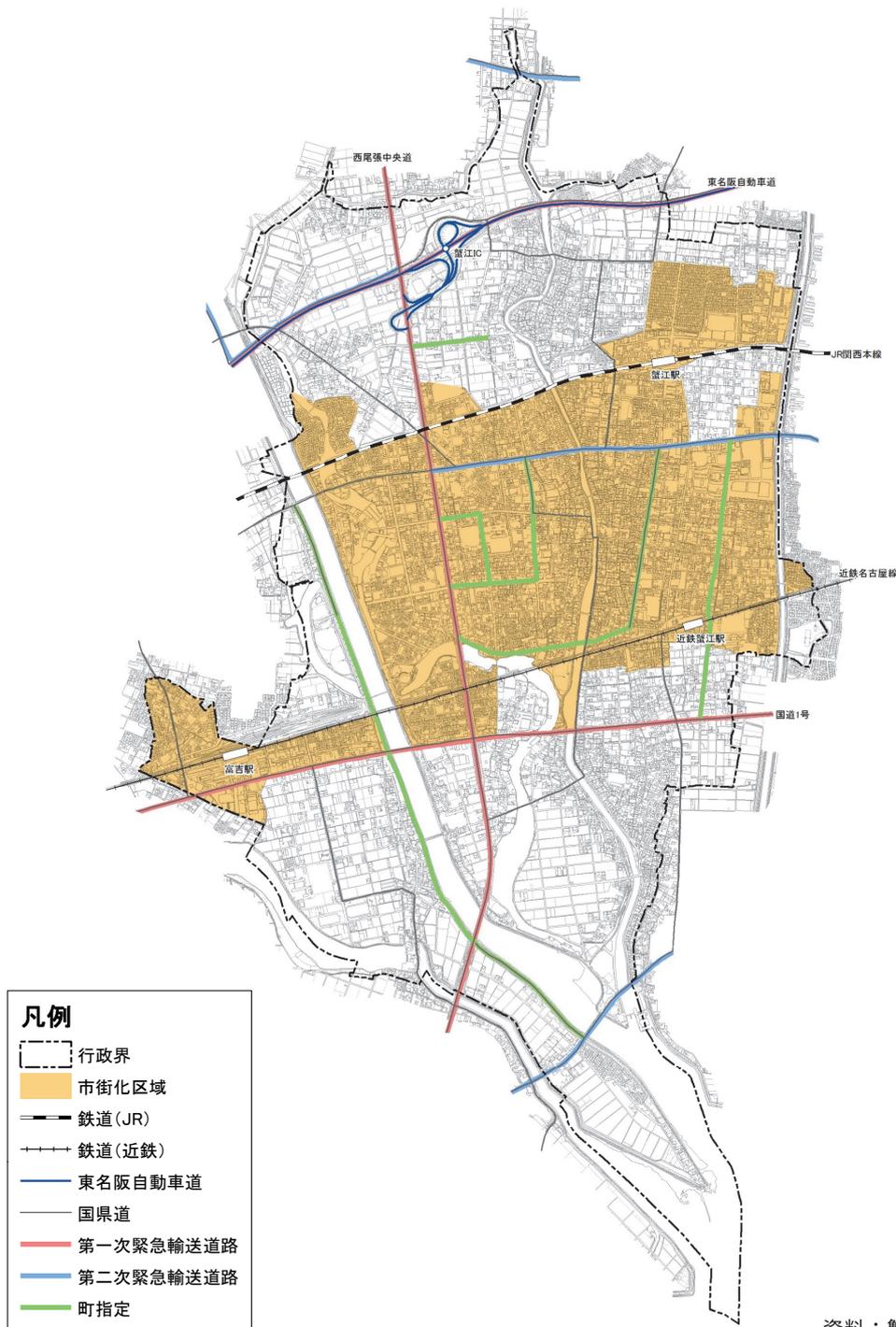


資料：蟹江町

② 緊急輸送道路

緊急輸送道路は、東名阪自動車道、国道1号、主要地方道の一宮蟹江線・蟹江飛島線（西尾張中央道）が第一次緊急輸送道路に、主要地方道の名古屋蟹江弥富線の一部、弥富名古屋線の一部、名古屋十四山線が第二次緊急輸送道路に指定されています。また、第一次・第二次緊急輸送道路と町内の拠点をつなぐ県道や町道を、緊急輸送道路として町が指定しています。

【緊急輸送道路網図】



資料：蟹江町地域防災計画

③ 道路交通量

主要道路の交通量をみると、広域的な幹線道路である東名阪自動車道は、24時間交通量が6万台を超えており、大型車混入率も20%以上となっています。

一般道では、主要地方道の一宮蟹江線・蟹江飛島線（西尾張中央道）の交通量が多く、蟹江インターチェンジ～芝切交差点（国道1号交差点）間で約4万台、その前後区間も約3万台となっており、南北方向の交通が集中している状況です。また、大型車混入率も高く（一宮蟹江線が約30%、蟹江飛島線が約35%）、物流産業面で重要な路線となっています。その他の路線については、国道1号や主要地方道の弥富名古屋線の一部区間が約2万台、名古屋十四山線が約1万5千台、名古屋蟹江弥富線が1万台を超えるなど、東西方向の交通量が多くなっています。

主要道路の混雑状況をみると、国道1号の名古屋市境～蟹江大橋間は、混雑度が1.75を超えるなど慢性的に混雑している状況にあります。一宮蟹江線（西尾張中央道）や弥富名古屋線の一部区間、名古屋十四山線も、混雑度が1.25～1.75未満となっており、ピーク時以外にも混雑している時間帯がある状況となっています。

また、国道1号の蟹江大橋東交差点、一宮蟹江線（西尾張中央道）の芝切交差点以北（学戸交差点、川並交差点含む）、弥富名古屋線の今交差点、名古屋弥富蟹江線の鹿伏兎橋西交差点（津島市内）、津島蟹江線の一部区間や、JR関西本線や近鉄名古屋線の一部の踏切が愛知県道路交通渋滞対策推進協議会の定める主要渋滞箇所指定されています。

【主要道路の交通量等の状況】

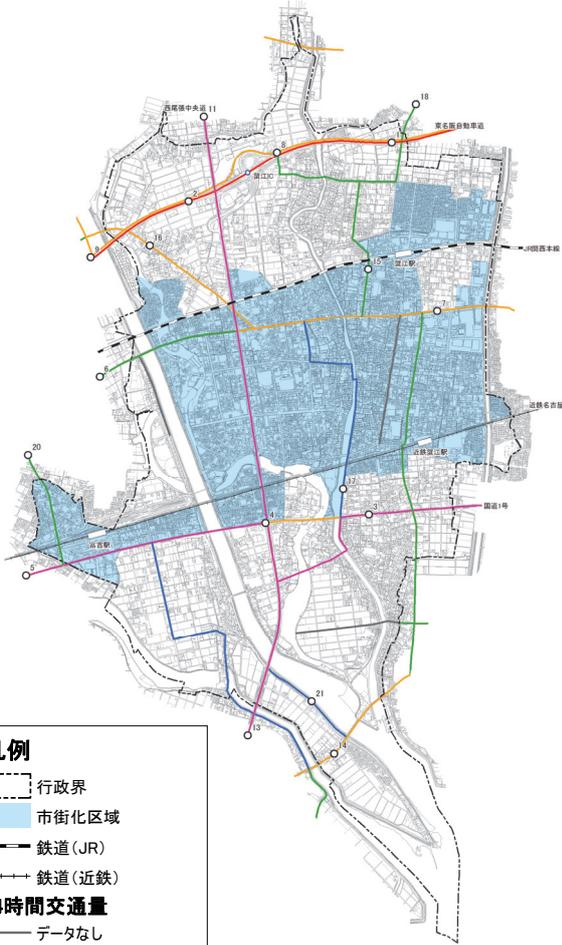
No	道路種別	路線番号	路線名	交通量観測地点地名	平日12時間交通量(台)	昼夜率	平日12時間大型車混入率	混雑度
1	1	1070	東名阪自動車道	名古屋西インターチェンジ～蟹江インターチェンジ	67,512	1.33	20.6%	0.97
2	1	1070	東名阪自動車道	蟹江インターチェンジ～弥富インターチェンジ	62,143	1.34	20.3%	0.90
3	3	1	一般国道1号	舟入1丁目	20,420	1.43	11.2%	1.76
4	3	1	一般国道1号	芝切交差点	16,247	1.14	17.7%	1.45
5	3	1	一般国道1号	(弥富市)	20,360	1.34	12.7%	1.24
6	4	29	弥富名古屋線	(愛西市)	7,410	1.28	9.8%	0.51
7	4	29	弥富名古屋線	本町五丁目	19,176	1.36	6.1%	1.29～1.41
8	4	40	名古屋蟹江弥富線	須成西四丁目	12,555	1.30	18.9%	0.94～0.95
9	4	40	名古屋蟹江弥富線	(愛西市)	11,493	1.30	18.5%	0.79～0.94
10	4	40	名古屋蟹江弥富線	(非観測のため推定値)	13,514	1.31	18.4%	1.24
11	4	65	一宮蟹江線	(津島市)	28,174	1.40	29.2%	0.85
12	4	65	一宮蟹江線	(非観測のため推定値)	39,554	1.43	28.5%	1.55～1.62
13	4	66	蟹江飛島線	(弥富市)	28,798	1.36	34.5%	0.83～2.52
14	4	70	名古屋十四山線	鍋蓋新田チノ割	15,556	1.31	16.6%	1.48～1.54
15	6	103	境政成新田蟹江線	今二之坪	8,581	1.28	3.4%	0.76～0.86
16	6	114	津島蟹江線	西之森二丁目	11,790	1.32	5.2%	1.23～1.46
17	6	114	津島蟹江線	宝一丁目	2,132	1.32	1.9%	0.40
18	6	139	須成七宝稲沢線	(あま市)	6,721	1.27	6.3%	0.61～0.63
19	6	462	大藤永和停車場線	(非観測のため推定値)	2,566	1.23	5.7%	0.46
20	6	462	大藤永和停車場線	(愛西市)	6,859	1.27	7.3%	0.81
21	6	517	蟹江梅乃郷線	鍋蓋新田二ノ割	764	1.20	24.8%	0.11

※Noは、次頁の交通量調査地点のNoと対応

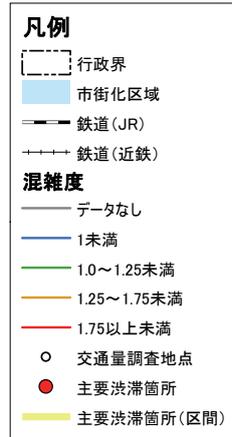
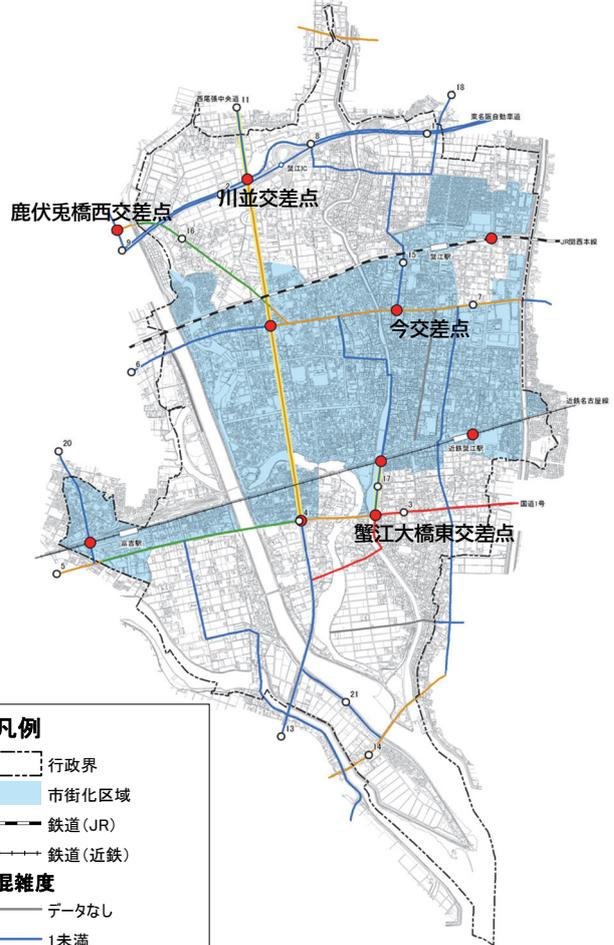
※No.13蟹江飛島線の混雑度2.52について、混雑度の算出対象となる交通量は該当区間外（弥富市）の4車線で計測されており、実際の交通量と乖離している可能性がある。

資料：道路交通センサス（平成27年度）

【24時間交通量】



【混雑度】



資料：道路交通センサス（平成27年）、愛知県道路交通渋滞対策推進協議会資料

④ 道路幅員、歩道代表幅員

当町の道路幅員をみると、町内の道路のおおむねが幅員4～12m未満で整備されていますが、当町の東側では、幅員4m未満の道路も多くなっています。国道1号、一宮蟹江線・蟹江飛島線（西尾張中央道）、弥富名古屋線では、道路幅員が12m以上の区間もありますが、その他の国県道はおおむね12m未満です。

また、町道の幅員構成比をみると、道路幅員4m未満が約30%を占めており、防災上も危険な狭隘道路が多くみられます。

町内の歩道代表幅員※はおおむね1m未満（歩道なし含む）で整備されており、一宮蟹江線（西尾張中央道）の一部区間では4m以上で整備されている歩道があります。道路幅員4m未満の道路が多い、当町の東側は歩道代表幅員も狭く、自動車や自転車・歩行者にとって、十分な通行空間が確保されていません。

※歩道代表幅員：左右の歩行者通行空間の幅員のうち、広幅員の値を採用

【町道の車道幅員・歩道代表幅員】

		延長 (m)	割合
道路幅員	幅員4m未満	56,828.0	27.8%
	幅員4～6m未満	70,567.8	34.5%
	幅員6～12m未満	74,795.9	36.5%
	幅員12m以上	2,512.3	1.2%
	計	204,704.0	100.0%
		延長 (m)	割合
歩道代表幅員	幅員1m未満（歩道なし含む）	183,739.2	89.8%
	幅員1～2m未満	3,013.5	1.5%
	幅員2～4m未満	14,862.7	7.3%
	幅員4m以上	3,088.6	1.5%
	計	204,704.0	100.0%

※四捨五入の関係で合計値が一致しないことがある。

資料：道路台帳

【道路幅員】



資料：道路台帳、道路交通センサス（平成27年度）

【歩道代表幅員】



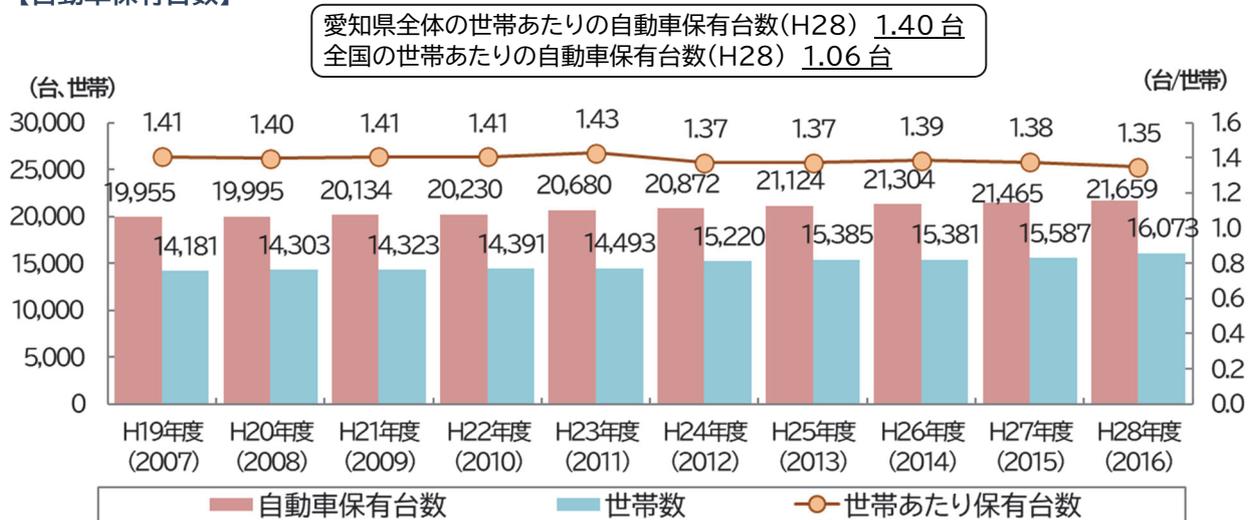
資料：道路台帳、道路交通センサス（平成27年度）

⑤ 自動車保有台数、運転免許保有状況

当町の自動車保有台数は増加傾向にあり、平成28(2016)年度時点で21,659台となっています。一方で、世帯あたりの自動車保有台数は減少傾向にあります。世帯あたりの自動車保有台数は全国平均と比較するとやや高い値となっていますが、愛知県平均と比較するとやや低くなっています。

また、運転免許人口も、自動車保有台数と同様に増加傾向にあり、平成29(2017)年時点で25,337人となっています。特に、高齢者の運転免許人口が増加しており、平成29(2017)年時点では約2割を占めています。高齢運転者（65歳以上）割合では、全国平均、愛知県平均と比較すると当町の高齢運転者割合はやや低くなっています。

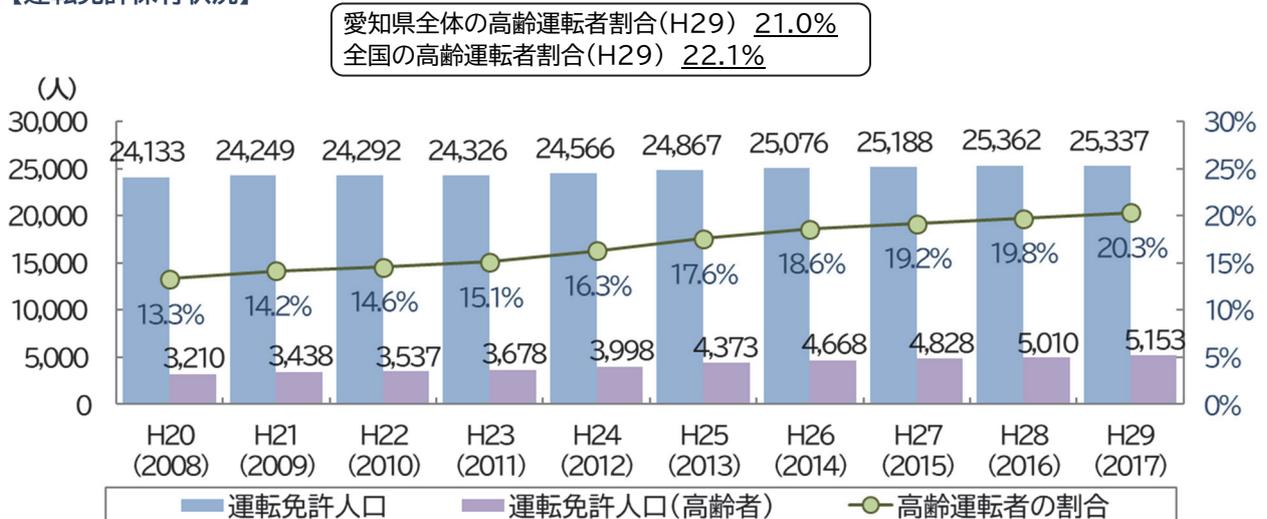
【自動車保有台数】



※普通乗用車（自家用）、小型乗用車（自家用）、軽自動車の合計

資料：愛知県統計年鑑（保有台数）、住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（世帯数）

【運転免許保有状況】



※高齢運転者：65歳以上

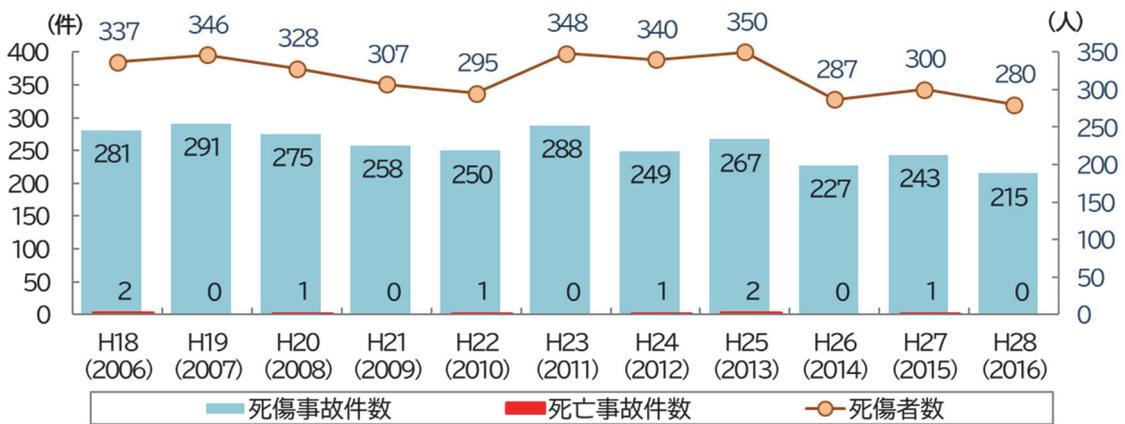
資料：愛知県警察 住所別年齢別運転免許人口

⑥ 交通事故発生状況

当町における死傷事故件数や死傷者数は、長期的には減少傾向にあり、平成28(2016)年の発生件数は215件、死傷者数は280人となっています。死亡事故は、発生しても1～2件と少ないものの、おおむね2年に1回は発生しています。

また、平成29(2017)年から平成30(2018)年にかけての重大事故（死亡事故・重傷事故）の発生状況を見ると、JR蟹江駅の北側で2件の死亡事故が発生しています。重傷事故は、JR蟹江駅と近鉄蟹江駅の間で多発しています。

【交通事故発生状況】



資料：交通事故統計年報

【重大事故発生位置図(平成29～30年)】



● 死亡事故
● 重傷事故

資料：愛知県警察 安心・安全マップ

(2) 公共交通

① 鉄道

当町には、名古屋と三重県方面を連絡するＪＲ関西本線と近鉄名古屋線が東西に通過しており、町内には、ＪＲの蟹江駅、近鉄の近鉄蟹江駅と富吉駅の３駅が立地しています。

平成27(2015)年度の一日あたりの駅別乗降客数をみると、近鉄蟹江駅の乗降客数が12,304人で最も多く、次いで、ＪＲ蟹江駅(6,986人)、近鉄富吉駅(5,394人)の順となっています。乗降客数の推移をみると、近鉄蟹江駅と富吉駅の乗降客数が減少傾向にある一方で、ＪＲ蟹江駅の乗降客数は増加傾向にあります。

また、各駅の運行本数をみると、近鉄蟹江駅の運行本数が多く、平日ピーク時の運行本数は、名古屋方面が16本/時、三重方面が13本/時となっています。最も乗降客数の少ない近鉄富吉駅の平日ピーク時の運行本数は、名古屋方面が10本/時、三重方面が5本/時となっています。近年乗降客数が増加傾向にあるＪＲ蟹江駅は、３駅のなかで最も運行本数が少なく、平日ピーク時の運行本数は、名古屋方面が6本/時、三重方面が4本/時となっています。

【駅別乗降客数】



資料：都市計画現況調査、近畿日本鉄道

【駅別運行本数】

駅	方面	平日		土曜・休日		備考	
		日平均 (本/時)	ピーク時 (本/時)	日平均 (本/時)	ピーク時 (本/時)		
近鉄	蟹江駅	近鉄名古屋方面	8.7	16.0	8.2	12.0	急行、準急、普通が停車
		伊勢中川・五十鈴川方面	8.7	13.0	8.1	11.0	
近鉄	富吉駅	近鉄名古屋方面	5.7	10.0	5.5	7.0	準急、普通が停車
		伊勢中川方面	3.4	5.0	3.4	5.0	
ＪＲ	蟹江駅	名古屋方面	3.0	6.0	2.9	5.0	普通、区間快速が停車
		四日市・松阪方面	3.1	4.0	3.0	4.0	

資料：各鉄道会社WEBサイト

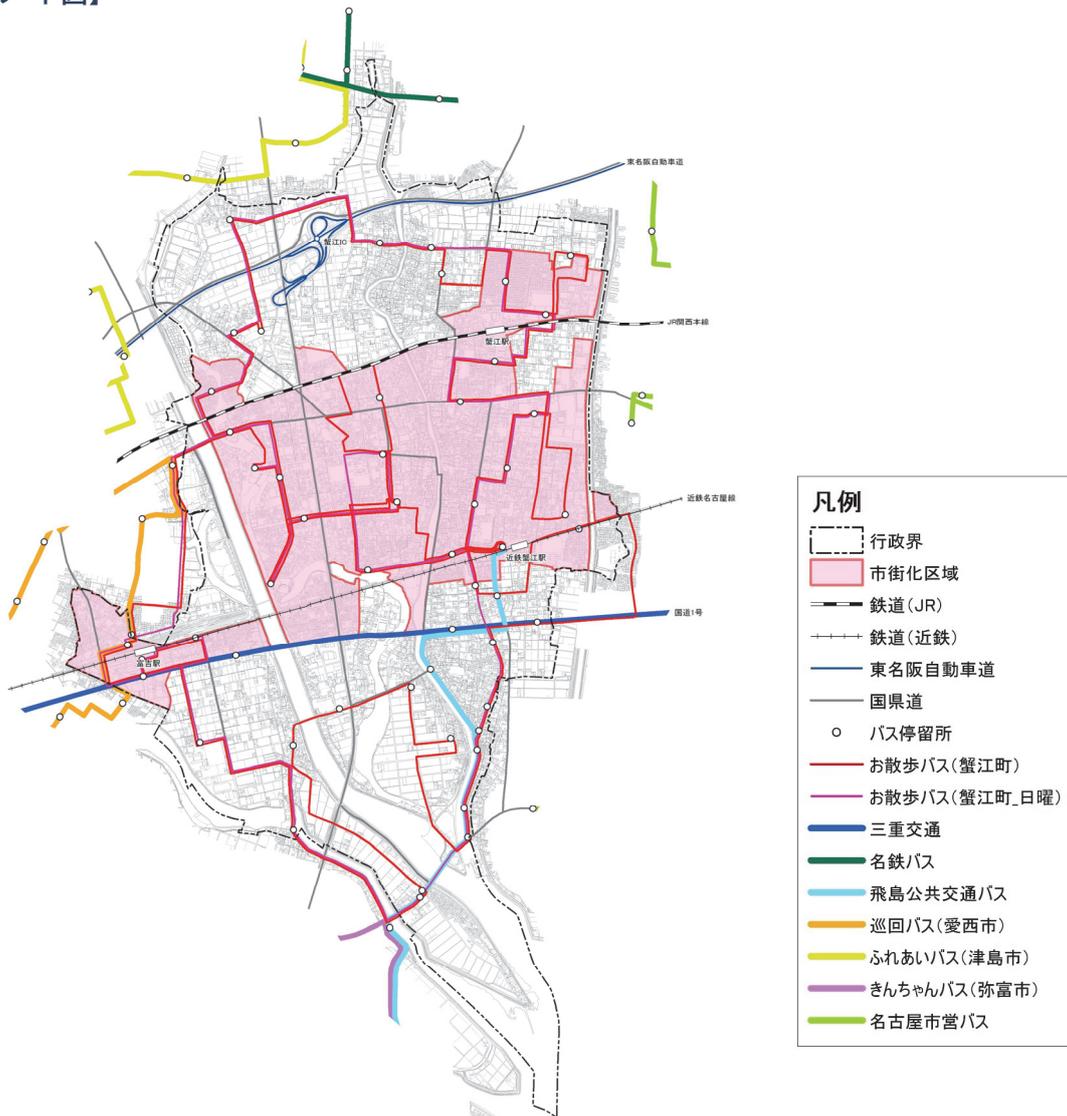
② バス

バスの運行状況をみると、当町が運営する「お散歩バス」が、おおむね町全域をカバーするように運行しています。原則、月曜から土曜はオレンジコースとグリーンコースの2コースが運行されており、運行本数はいずれのコースも一日あたり6本となっています。また、日曜は、平日と異なる日曜コースで運行しています。

その他、津島方面と名古屋方面を連絡する「名鉄バス」と津島市が運行する「ふれあいバス」のルートが当町北部を通過し、一方で、南部では「飛島公共交通バス」が近鉄蟹江駅に、西部では愛西市が運営する「巡回バス」が近鉄富吉駅に乗り入れています。また、「三重交通」が、夜間に名古屋から桑名方面に向かう1便のみ運行しています。

また、「名古屋市営バス」と弥富市が運行する「きんちゃんバス」が当町の周辺をっており、「きんちゃんバス」は、近鉄蟹江駅に乗り入れている「飛島公共交通バス」との乗り継ぎが可能となっています。

【バスルート図】



資料：各市町村WEBサイト、三重交通WEBサイト、名鉄バスWEBサイト

お散歩バスの利用状況をみると、オレンジコースは、平成23(2011)年度から平成25(2013)年度にかけて減少しましたが、以降はおおむね横ばいで推移しており、平成29(2017)年度には23,308人が利用しています。グリーンコースもピーク時に比べて減少していますが、近年はおおむね横ばいで推移しており、平成29(2017)年度には18,456人が利用しています。平成24(2012)年度から運行が開始された日曜コースは、利用者数が増加傾向にあり、平成29(2017)年度には2,275人が利用しています。お散歩バス全体の1便あたりの利用者数は、10～11人で推移しています。

また、近鉄蟹江駅に乗り入れている飛島公共交通バスの利用者は増加が続いており、平成29(2017)年度には143,542人が利用しています。

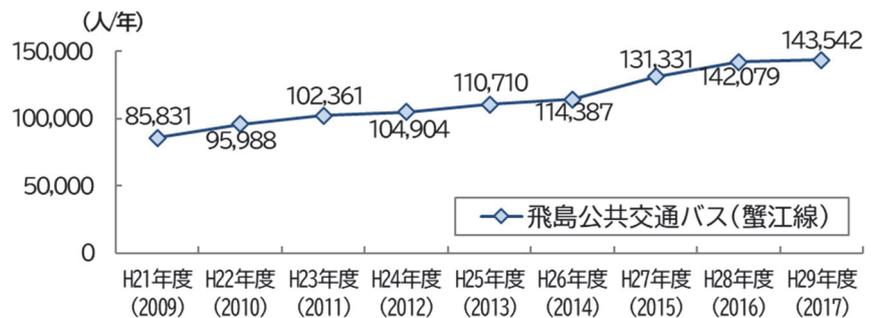
【お散歩バス利用状況(年間)】



		平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)
オレンジ コース	利用者数(人)	28,190	29,921	30,980	28,433	20,976	22,879	22,499	21,326	23,308
	便数(便)	-	-	-	-	-	1,762	1,758	1,758	1,758
グリーン コース	利用者数(人)	17,761	18,688	19,081	18,549	16,682	17,906	16,143	15,544	18,456
	便数(便)	-	-	-	-	-	1,761	1,752	1,758	1,758
日曜 コース	利用者数(人)	-	-	-	327	1,526	1,698	1,881	2,093	2,275
	便数(便)	-	-	-	-	-	208	208	208	204
合計	利用者数(人)	45,951	48,609	50,061	47,309	39,184	42,483	40,523	38,963	44,039
	便数(便)	-	-	-	-	-	3,731	3,718	3,724	3,720
1便あたり利用者数		-	-	-	-	-	11.4	10.9	10.5	11.8

資料：蟹江町

【飛島公共交通バス(蟹江線)利用状況(年間)】



資料：飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会資料

③ 公共交通空白地

公共交通空白地の状況を見ると、町域の大部分が鉄道・バスの誘致圏に含まれていますが、北部の西之森3丁目や須成西、今西3丁目、平安、南部の緑や旭などに、公共交通空白地がみられます。

【公共交通空白地】



資料：蟹江町

(3) その他交通の状況

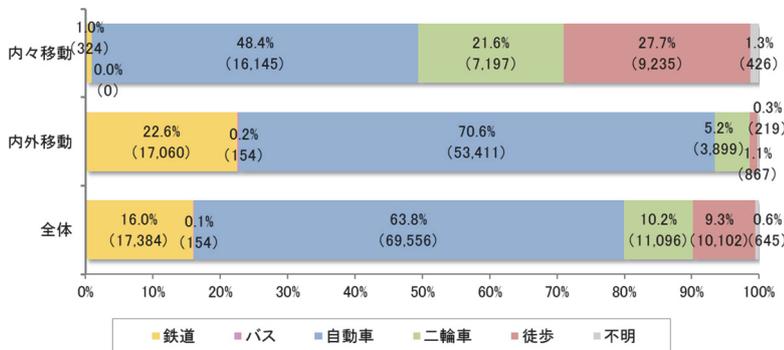
① 移手段

全体の交通分担率は、自動車が63.8%と最も高く、自動車による移動が主な交通手段となっています。次いで、鉄道が16.0%となっています。

内々移動の交通分担率は、自動車の48.4%が最も高く、次いで徒歩の27.7%、二輪車の21.6%が高くなっています。内々移動の場合は、近中距離では徒歩・二輪車で移動し、遠距離では自動車で移動することが多くなっています。一方で、内外移動の交通分担率は、自動車の70.6%が最も高く、次いで鉄道の22.6%が高くなっています。

当町では、内々移動の約3万3千トリップに対し内外移動が約7万6千トリップと、当町から別の市町村へと移動することが多くなっており、特に名古屋市間の移動が多くなっています。

【内々・内外移動の交通分担率】



【市町村間の移動状況】

	発生交通量		集中交通量	
	トリップ数	割合	トリップ数	割合
名古屋市	6,644	35.3%	15,345	52.5%
飛島村	103	0.5%	1,090	3.7%
弥富市	1,936	10.3%	1,839	6.3%
愛西市	2,625	13.9%	1,160	3.9%
津島市	905	4.8%	1,787	6.1%
あま市	1,397	7.4%	1,781	6.1%
稲沢市	836	4.4%	473	1.6%
その他県内	1,497	7.9%	3,116	10.6%
岐阜県	1,737	9.2%	849	2.9%
三重県	1,168	6.2%	1,745	5.9%
その他県外	0	0.0%	234	0.8%

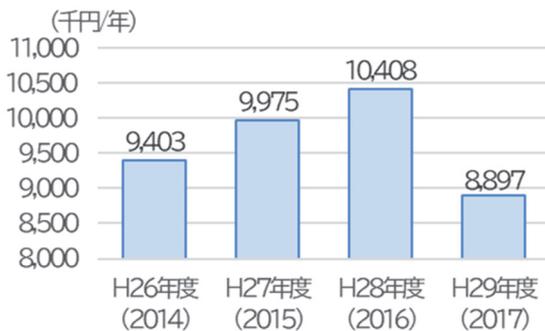
資料：第5回（平成23年度）中京都市圏パーソントリップ調査

② 公共交通にかかる負担

お散歩バスの事業費は、平成26(2014)年度から平成29(2017)年度にかけて年間約900万円とされており、当町の全額負担となっています。

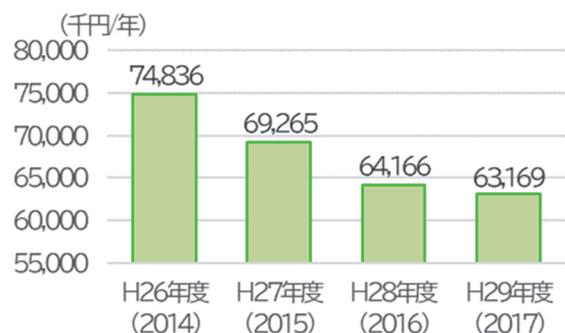
また、飛島公共交通バスの事業費は、年間約6,000万円で、事業費は年々、減少傾向にあります。当町は負担金として、年間100万円を支払っています。

【お散歩バスの事業費】



資料：蟹江町

【飛島公共交通バスの事業費】



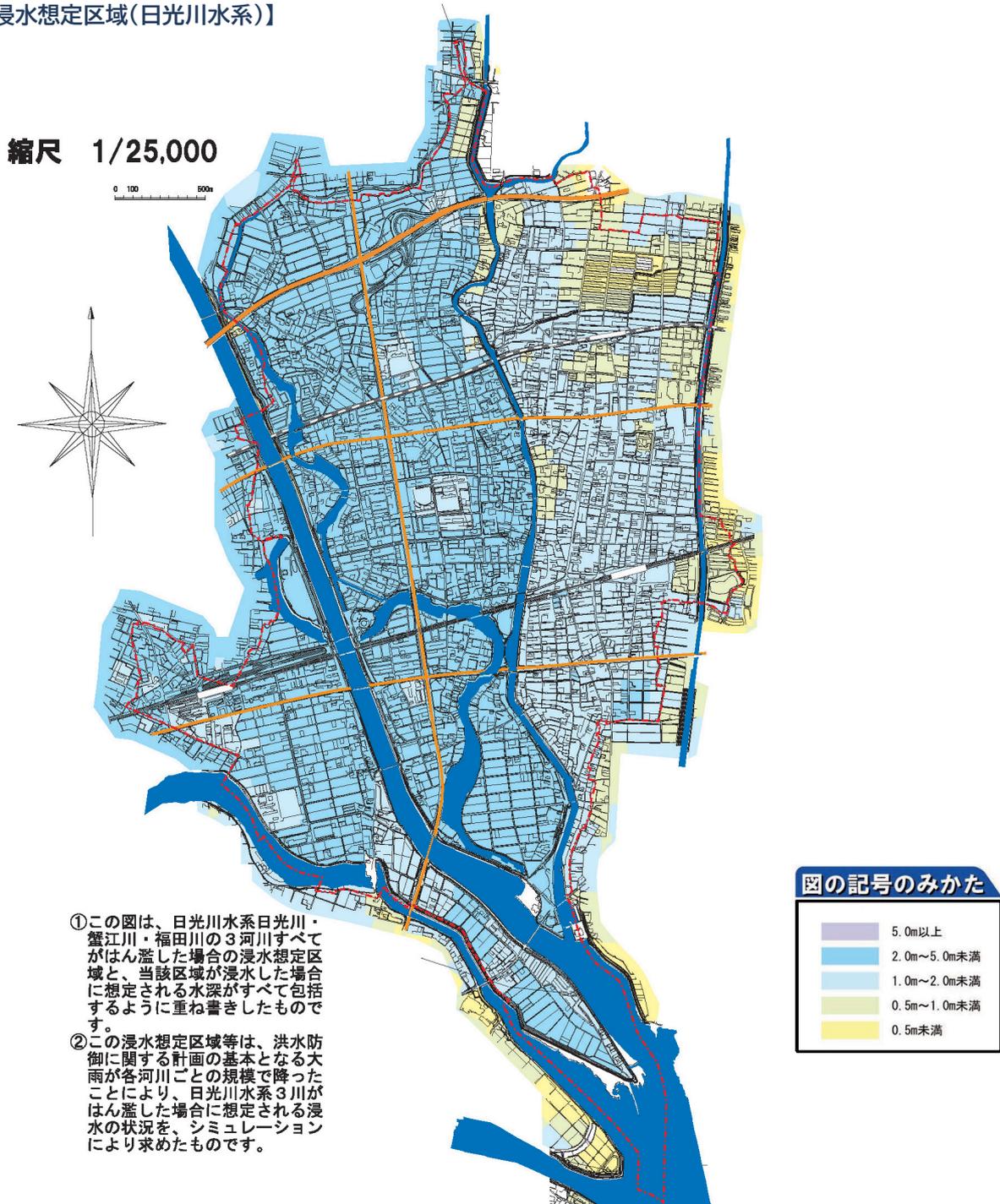
資料：飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会資料

■ 災害

(1) 水害

当町には、日光川や佐屋川、蟹江川、福田川など多くの河川が流れているとともに、海拔ゼロメートル地帯であるため、水害の危険性が高く、当町のほぼ全域が、いずれかの河川の浸水想定区域となっています。特に、蟹江川より西側は浸水深が深い地域となっています。

【浸水想定区域(日光川水系)】



資料：蟹江町洪水ハザードマップ（平成23年6月）

(2) 地震

愛知県では、南海トラフ地震による被害想定について、震度6強の揺れを観測し、最大のケースで死者数が約700人、全壊棟数が約3,700棟にのぼると想定しています。

当町は木曾三川の沖積平野と干拓による低湿地により構成されていることから、液状化危険度が極めて高い状況にあり、津波による被害を受ける可能性も高く、最大のケースでは、町域の大部分が津波により浸水すると想定されています。

【南海トラフ地震の被害想定(震度、津波浸水面積)】

	最大深度	津波浸水面積(ha)		最大震度	津波浸水面積(ha)
過去地震最大モデル	6強	487	理論上最大モデル	6強	987

※津波浸水面積は、ケース⑦の場合の1cm以上の浸水面積

資料：愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等 被害予測調査結果

【南海トラフ地震の被害想定(人的被害:死者数)】

(人)

	建物倒壊	浸水・津波	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、野外出物	合計
過去地震最大モデル	約10	約20	(わずか)	(わずか)	(わずか)	約30
理論上最大モデル	約90	約600	(わずか)	(わずか)	(わずか)	約700

※津波浸水面積は、ケース⑦の場合の1cm以上の浸水面積

資料：蟹江町地域防災計画

【南海トラフ地震の被害想定(建物被害:全壊棟数)】

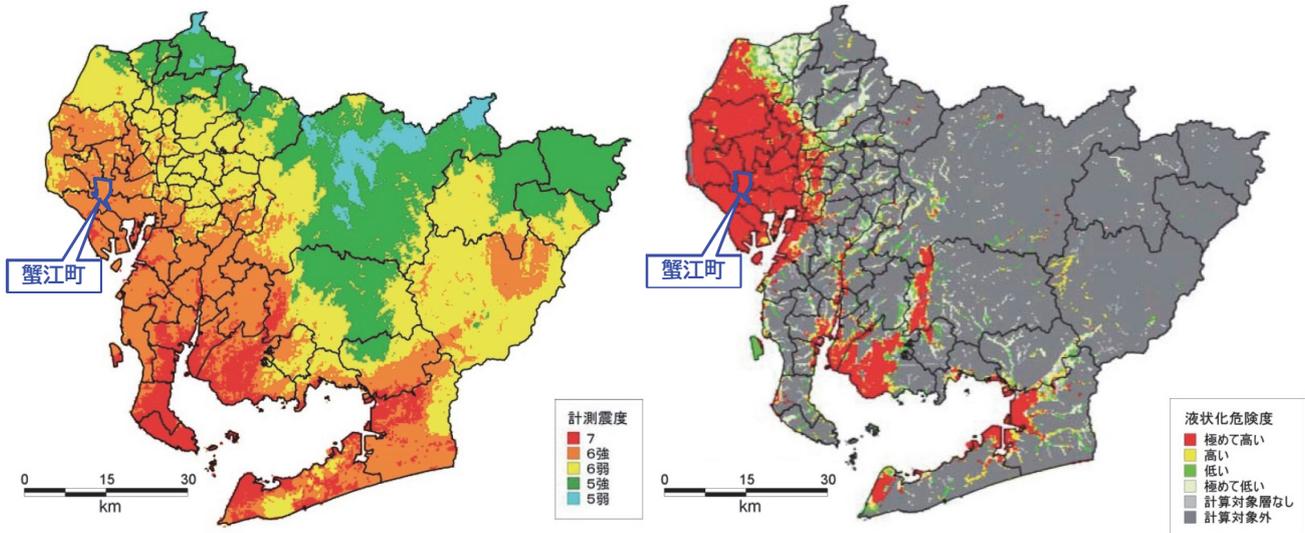
(棟)

	揺れ	液状化	浸水・津波	急傾斜地崩壊等	火災	合計
過去地震最大モデル	約300	約200	約50	(わずか)	約50	約600
理論上最大モデル	約1,600	約200	約1,200	(わずか)	約600	約3,700

※想定条件：想定条件：冬・夕方18時、風速5m/s

資料：蟹江町地域防災計画

【南海トラフ地震の震度、液状化分布(理論上最大モデル、陸側ケース)】



震度分布
「理論上最大想定モデル」による想定（陸側ケース）

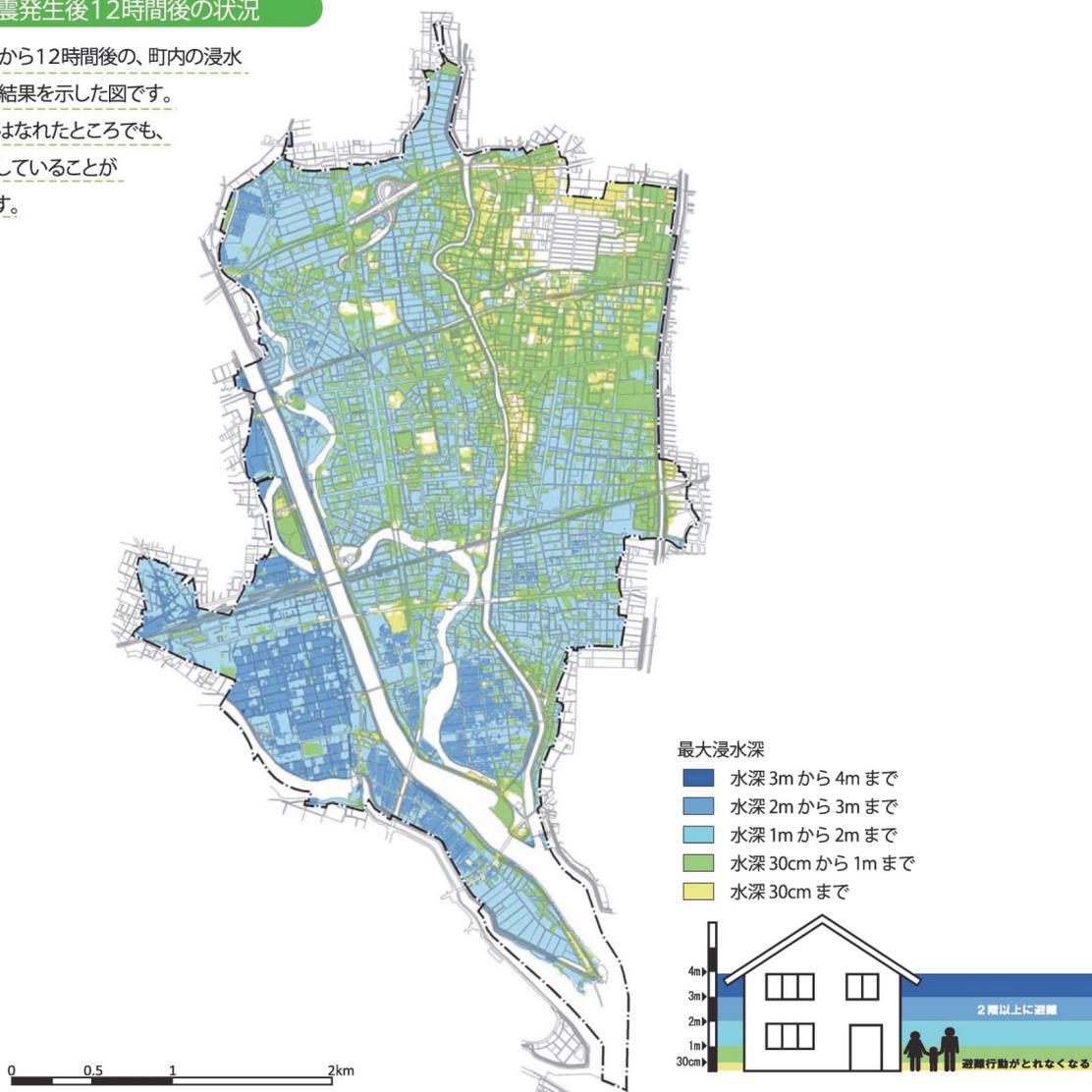
液状化危険度分布
「理論上最大想定モデル」による想定（陸側ケース）

資料：愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等 被害予測調査結果

【南海トラフ地震による津波最大浸水想定】

地震発生後12時間後の状況

地震発生から12時間後の、町内の浸水深の想定結果を示した図です。
 河川からはなれたところでも、
 広く浸水していることが
 わかります。



資料：蟹江町浸水津波避難ハザードマップ（平成28年3月）